



コミュタン福島における取組

福島県環境創造センター総務企画部企画課

福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」は、放射線に関する正確な理解を促進し、また、原子力災害を経験した福島県の現状を伝えることを目的とした展示室等を備えた施設として、2016年7月21日にオープンしました。

放射線や原子力災害を経験したふくしまの状況についての理解不足に起因する風評や不当な差別など福島で生まれ育つ子どもたちが今後も背負う問題を解決するためには、放射線やふくしまの状況を子どもたち自身がきちんと理解し、自らの言葉で伝えることが必要です。「コミュタン福島」では体験型の展示やスタッフと対話を通して、それらを主体的に学ぶことができます。

放射線やふくしまの状況について、子どもたちが主体的に学べる施設 **コミュタン福島**



コミュタン福島 外観



原子力災害について学ぶエリア



放射線について学ぶエリア



ドームシアター内部

コミュタン福島の特徴

子どもたちが主体的に学べるように、

- ・ **体験型の展示** で、子どもたちの興味を喚起
- ・ **対話を重視** したハードとソフトで、コミュニケーション促進

展示での学習内容

- ・ 原子力災害、放射線の基礎知識
- ・ カーボンニュートラルなどの地球温暖化対策
- ・ SDGsの概要と各ゴールに関連した展示

実験講座の内容

- ・ 身の回りの放射線の測定
- ・ 霧箱で放射線の性質の観察
- ・ 再生可能エネルギーによる発電体験



観察する



体験型展示



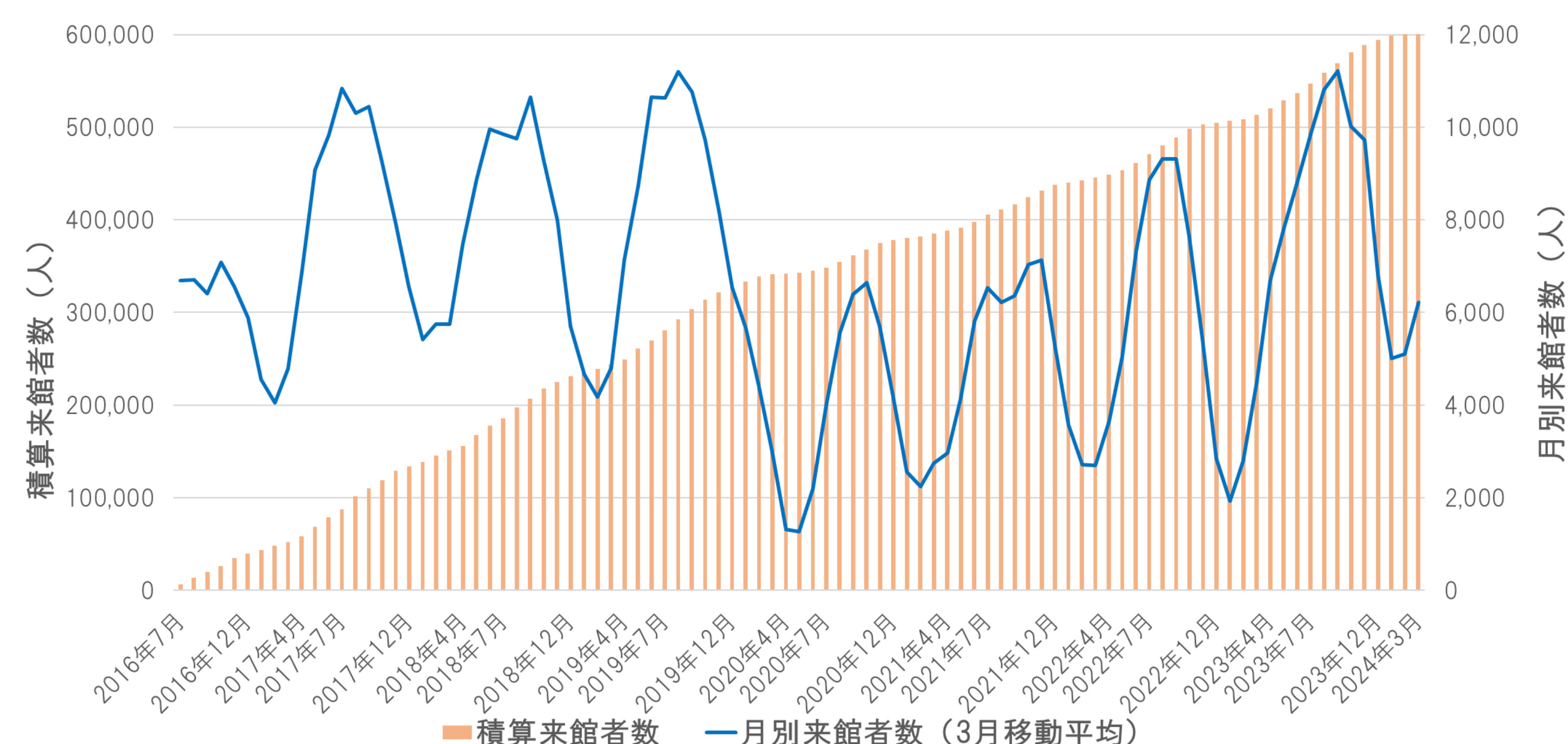
運営スタッフと



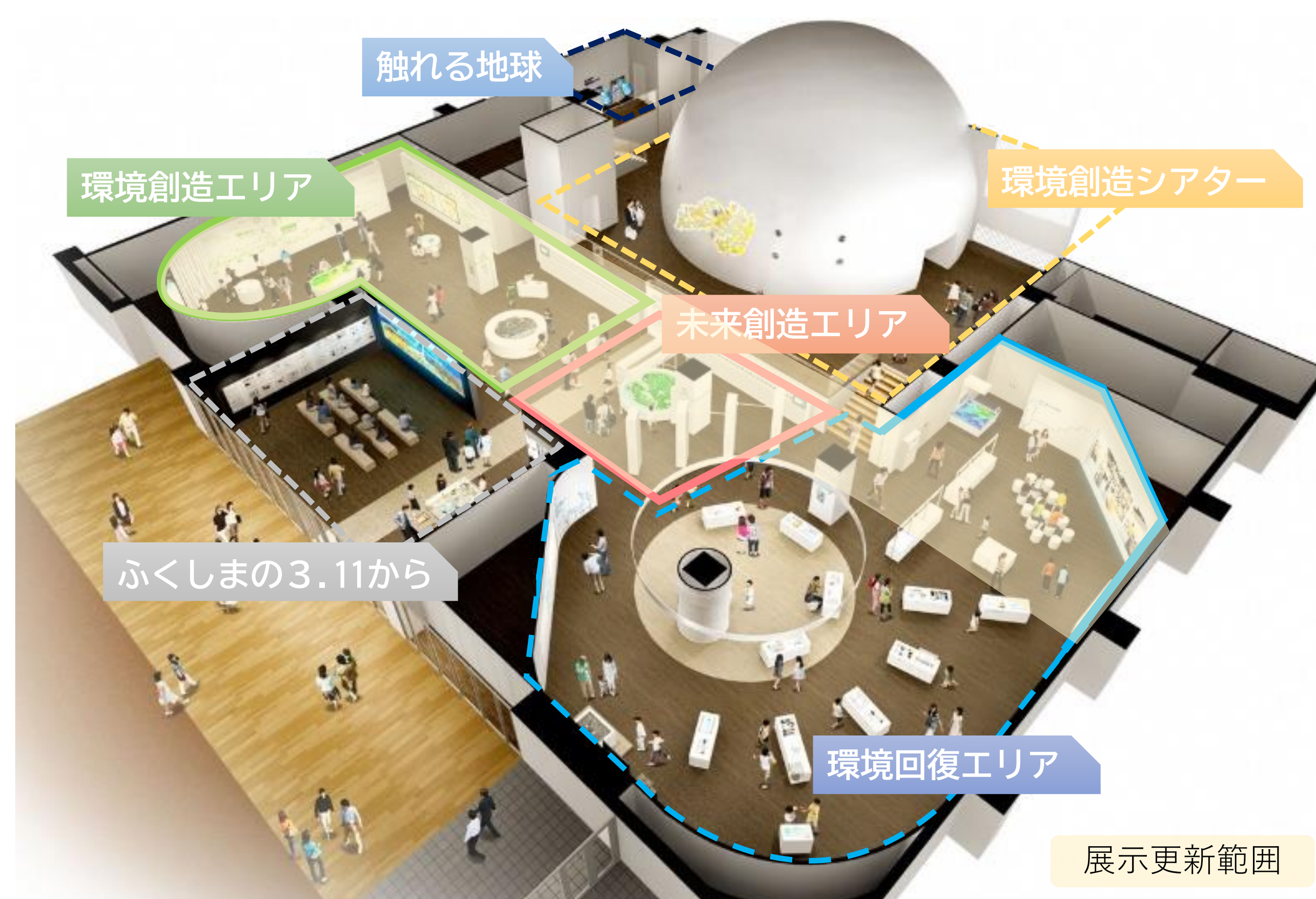
実験講座で

コミュタン福島 来館者数等

2016年7月21日～2024年3月31日までの総来館者数（オンラインを除く）は610,361人となり、2017年度～2019年度まで年間9万人を超える来館者が訪れ、目標である年間総来館者数の8万人を大きく上回ることができました。しかし、2020年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの約5割程度まで減少してしまいました。2023年度は、展示施設のリニューアルや新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行などもあり、目標の8万人を大きく超える97,976名の来館者を迎え、コロナ禍以前の状況に戻りました。



コミュタン福島来館者数(2016.7.21～2024.3.31)



リニューアル後のコミュタン福島 展示室

コミュタン福島 展示室の紹介

福島県の環境回復と創造に向け、来館者一人ひとりが、現在の環境問題に対して「自分でできることは何か」をそれぞれの立場から考え、「自分事化」する視点を育むとともに、日常生活の中で自らの行動に反映するきっかけとなる場を目指しています。



バーチャルラボ

環境創造センターの研究施設の様子をマスコットキャラクター「コミュタン」が案内し、クイズを交えながら楽しく解説しています。

環境創造センターの研究への理解や興味・関心へ繋がります。



未来創造インフォストリーム

ふくしまの「今」を数値や映像で発信しています。環境創造センターが取り組んできた研究について、成果や研究者の思いなどを発信します。

コンテンツの更新ができるため、来館者のニーズや学習したい内容に合わせて情報を発信しています。